

令和6年度 第1回学校関係者評価委員会 報告書

認定こども園かいけ心正こども園

園長 山口 明美

○評価日 令和6年6月26日（水）10:30～11:30

○場所 認定こども園かいけ心正こども園 会議室

○出席委員

学校関係者評価委員	所属
◎A委員	米子市立小学校 校長
B委員	米子市立公民館 館長
C委員	保育園 園長
D委員	主任児童委員
E委員	保護者会 副会長

◎委員長

○園からの説明

- (1) 令和6年度 年間評価計画について
- (2) 令和6年度 教育推進の重点と実践について
- (3) 令和6年度 運営計画・自己評価表について

○園からの説明に対して、学校関係者評価委員の皆様からの意見

【A委員】

- 英語教育の毎日10分英語とは、どのようなことをするのか。
⇒歌やダンス、サイバードリームを使用して、レッスンだけでなく、英語に触れる機会を持っている。また、朝の会の中でも、「今日の天気はなにか」の質問に、“It's sunny”と英語を使った場面もある。外国人講師が普段の園生活に常駐しているので、自然に英語が日常生活の中にある環境である。
- 小学校でも、パソコンを使用して授業をしているが、英語はとても難しい。小さいころからの取り組みが必要である。

【B委員】

- 先日、「日本最大のヒメボタル：福万来ホテル乃国」という記事を見た。こどもたちに見せたいと思った。小さなころの経験は、様々な感覚を養えると思う。

【C委員】

- 給食提供については、うずら卵の誤嚥事故があってから、様々な食材に制限がかかっている。また、家庭からの弁当の中身に制限をしたり、プチトマトの野菜栽培を中止したりしている。保育現場では、制限をかけるより、日頃から「噛むこと」をしっかりと指導

していかなくてはならないと思った。

【D 委員】

- 給食の残食はどうか。

⇒毎日こどもの食べる量は、調整している。残食は、全体で3～10キロである。こどもの好きなメニューの日や休みの子が多い日によって、残食量が変わる。

- 家では食べなくても、園では食べるということがある。以前は、こどもの好きなメニューのレシピを公開していたがどうか。

⇒現在も、食育だよりや給食試食会等で、園のレシピを紹介している。また、毎日の給食はインスタグラムで配信している。

⇒園からの説明

上記のようなご意見を頂きましたので、本年度の園運営や保育に活かしていきたいと考えております。

以上